

〈第4回 2000年浪漫の里委員会〉

12月20日生憎の雨模様であったが、「現地をもう一度見る」ことを通して浪漫の里づくりを進めようと、現地視察を中心とした学習会が行われた。

現地視察に先立ち、歴史に学び地域を訪ねる会顧問小林正春先生から垣川官衙遺跡について以下の点に着目した視察のポイントが示された。

1. 何故、他の有力な地域を押しつけて、座光寺に設けられたかの意味、東山道の陸運・天竜川の水運等との関連
2. 業務量、位置、軍事的な重要性からみた伊那郡衙の特徴
3. 郡衙配置の全貌
4. 垣川官衙遺跡周辺の古墳群からみた伊那郡衙一帯の関連性
5. 今後の垣川官衙遺跡整備活用の方向性

冷たい雨が降りしきる中、高岡1号古墳を手始めに伊那郡衙の北側の高岡・新井原の古墳群・富本銭が発見された高森町の武陵寺古墳を見学し、続いて東山道の存在がうかがわれる浪漫豊かな脇道や垣川清水の祭祀遺跡、正倉域等を見て、新たな発見と感動を感じつつ、本日の視察は終了した。

2時間ほどの行程であり、天候に恵まれれば格好の散策路である。

現地視察の後、参加者による意見交換会がもたれた。まだまだ学習や理解が遅れているという自戒の言葉が多くみられたが、一方で、伊那郡衙は、間違いなくこの座光寺の地に設けられたもので地域に住む一人一人がその重さを自覚し誇りをもって強い語り部となること、子供たちにはまたとない貴重な学習材料であり、有効に活用していくこと、現在進行している市教育委員会の保存計画に対し、地域からの声をしっかり伝えていくこと等が確認された。

当日視察ルート



<感想の数々>

- ・ 地元におりながらこのような貴重な遺跡に対しあまりにも理解がないことを感じる 貴重な説明をうけありがとうございました
- ・ このように関連施設を通して歩くことでさらに理解が深まった
- ・ 天竜川の水運に関連した荷揚げ施設の「津」の存在の可能性を興味深く聞くことが出来た
- ・ 子供たちの歴史教育の場に今まで外に行くケースがあったが、本遺跡をもっと有効利用すべきだ
- ・ 2時間かけて歩いたこのコースを含めモデルコースとして設定していくことも良い
- ・ 東山道の存在を感じさせる道の説明は浪漫を感じた。伊那郡衙と密接に関連した東山道の推定個所をもっと強く打ち出せないのか
- ・ 現在民家が多く立ち並んでいるが7世紀当時は人家もほとんどなく下段が水田、中段は畑作であったことを想起すべきである
- ・ 説明を受ける度あらたな感動があるが、幅広い知識を持った説明ガイドの養成が迫られる
- ・ 政庁の発見を早くおこなうこと 古墳時代から近代にいたる多重的遺構がたくさん残り、特に郡衙の存在は座光寺の特権として活用しても良い
- ・ 垣川清水に湧水がなく、地元の理解を得て一帯を整備し公園化する機運を盛り上げることが望まれる

さらに現在進められている保存計画に地元の声を反映させていくことが重要で、住民の理解をさらに深め土地提供や発掘への賛同も得られやすくなっていく